

エゾカフェ店主敬白

VOL.5 2010/7/23

こんにちは、エゾシカカフェ店主の石崎です。

エゾシカカフェは、そのまま名前の通り、エゾシカ料理をご提供するカフェですが、本当のコンセプトは、『エゾシカ好きのオーラをあてて、エゾシカ大好きにさせる』ことにあります。

店主敬白も、皆さんにエゾシカのことをもっと知ってもらい、しかも大好きになってもらうためのものです。肩肘張らず、軽い気持ちで読んでみるしかない？

え、エゾシカハンターになりたい！？

そうですか、とうとうあなたもエゾシカハンターになりたいってことですね！ ぜひぜひなりましょう。僕と一緒に北海道の食材現地調達ツアー行こう！

しかしながら、ハンターになるのは大変です。そう、選ばれし者しか合格できないハンター試験ってものがあるんですね。（某マンガみたいでしょ。）

見たこともない猛獣から逃げ、仲間との友情と信頼が必要・・・ってわけではありません。筆記や実技試験で合格するだけです。面接試験もあって、警察官が、人間性（酒飲んで暴れない？）とか、安定収入があるかどうか（貧乏人は危ないってこと？）を聞かれます。警察は、なるべく世の中に出回っている銃を減らしたいという思いがあるようで、強硬な圧迫面接をかけて、ハンター免許保持を断念させようとします。若い女の子（女子大生ハンターとかいるんですよ。）なんぞは、泣いてしまうこともあるようです。



晴れて、ハンター免許をとったぞ。

ハンター免許の取得おめでとうございます。あなたの手元にはレミントンあたりの黒光りするショットガンがあり、いつでも獲物を捕らえることができそうですね。

しかしながら、ハンター免許を持っているからといって、それはハンターであることの証明にはなりません。つまり、『捕らえていいよ』と、『捕らえられる』には、大きな差があるのです。獲物はじっとしていないし、まさに、命がけであなたから逃げ回るでしょう。獲物との命がけのゲームに勝ち抜いてこそ、晴れてハンターの仲間入りができるのです。

ほら、これを読んでいるあなたもハンターになろうよ！ハンターになると、動物園に行っても『美味しそう。』とか『俺の銃じゃ、太刀打ちできねー』とか、普通の人とは違う感覚が身につくようになりますよ！！

え、いらない？ しかたないな～ じゃあ、エゾシカ食べて、気分だけでもハンターになってください。

